

広島工業大学

Hiroshima Institute of Technology

令和7(2025)年度 大学院入学試験要項

Graduate Admission Test Guidelines

学外推薦入学試験
一般入学試験
社会人特別選考
外国人留学生入学試験

工学系研究科

Graduate School of Science and Technology

博士前期課程 Pre-Doctoral Program

博士後期課程 Doctoral Program

【目次】

アドミッション・ポリシー	1
入試日程・入学検定料	3
〔学外推薦入学試験〕	
1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 選考方法	4
〔一般入学試験〕	
1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 選考方法	6
〔社会人特別選考〕	
1. 募集人員	9
2. 出願資格	9
3. 選考方法	10
〔外国人留学生入学試験〕	
1. 出願の留意事項	11
2. 出願書類確認期間	11
3. 募集人員	11
4. 出願資格	12
5. 選考方法	12
〔共通項目〕	
1. 出願方法	13
2. 出願書類	14
3. 出願にあたっての留意事項	16
4. 合格発表	16
5. 入学試験成績の開示について	16
6. 入学手続	17
7. 入学資格審査	18
8. 在留資格に関する手続きについて	19

アドミッション・ポリシー

【大 学】

広島工業大学は、「建学の精神」及び「教育方針」に則り、ディプロマ・ポリシーに定めた学修到達目標を実現できる潜在的な力を有した学生を求めて、大学院各専攻及び各学部の入学受入れ方針を定めます。この方針に基づき、能動的かつ主体的に行動する学生を受入れ、特色ある教育・研究を展開して、社会に奉仕する倫理観ある技術者を育成します。

【工学系研究科】

工学系研究科では、ディプロマ・ポリシーに定めた学修到達目標を実現できる潜在的な力を有し、高い専門知識、豊かな創造力と実践力、そして倫理観を備えた高度専門技術者及び研究者を目指し、社会に貢献する意欲を持つ人を求めています。

【知的機能科学専攻】

知的機能科学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、物質・材料、構造機能、知能情報、環境・社会基盤及び生体・食品の先端的な研究に興味を持ち、創造性豊かな研究・開発能力を備えた研究者への高い志を持つ人を求めています。

I 【知識・理解】

研究指導領域の高度な知識を有し、課題の本質を理解して幅広い視点から課題を解決するための卓越した自立的課題解決能力を高める意欲を持つ人。

II 【思考・判断】

専門知識を活用して、自ら課題を発見するとともに課題の本質を見極め、創造的に探究及び思考する優れた能力を持ち、適切な課題解決方法を判断しながら研究計画を策定し、遂行することができる優れた研究推進能力を高める意欲を持つ人。

III 【技能・表現】

研究成果を公表するための論理的な文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を備え、研究成果を学会等で広く社会に発信することができる高度な研究成果公開能力を高める意欲を持つ人。

IV 【関心・意欲・態度】

社会からの要請に関心を持つとともに、新領域の開拓にも意欲を示し、技術者又は研究者としての高い倫理観を持ち、社会に対して責任ある行動をとることができる十分な社会貢献能力の素養を持つ人。

○入学者選抜の方針

知的機能科学専攻では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けています。

- ・学内推薦入学試験では、これまでの研究実績に基づく研究計画及び博士論文執筆計画のプレゼンテーションに引き続いて実施する面接により、研究推進能力を評価します。
- ・一般入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）では、筆記試験と研究計画及び博士論文執筆計画のプレゼンテーションに引き続いて実施する面接により、研究推進能力を評価します。

【電気電子工学専攻】

電気電子工学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、電子物性、回路、エネルギー及び情報通信の各分野に関する先端的な研究に興味を持ち、創造的かつ実践的な開発能力を備えた技術者・研究者への高い志を持つ人を求めています。

I 【知識・理解】

電気電子工学の発展的に深化する教育研究分野において基礎知識を有し、課題の本質を理解して幅広い視点から課題を発見し解決するための課題解決能力を高める意欲を持つ人。

II 【思考・判断】

専門知識を活用して、自ら課題を発見するとともに課題の本質を見極め、創造的に探究及び思考する能力を持ち、適切な課題解決方法を判断しながら研究計画を策定し、遂行することができる研究推進能力を高める意欲を持つ人。

III 【技能・表現】

研究成果を公表するための論理的な文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を備え、研究成果を学会等で広く社会に発信することができる研究成果公開能力を高める意欲を持つ人。

IV 【関心・意欲・態度】

社会からの要請に関心を持つとともに、新領域の開拓にも意欲を示し、技術者又は研究者としての高い倫理観を持ち、社会に対して責任ある行動をとることができる十分な社会貢献能力の素養を持つ人。

○入学者選抜の方針

電気電子工学専攻では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けています。

- ・学内推薦入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）及び学外推薦入学試験では、面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力並びに研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。
- ・一般入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）では、筆記試験と面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力と研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。

【機械システム工学専攻】

機械システム工学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、構造機能、生産・加工、エネルギー機能及びシステム化機能の各分野に関する先端的な研究に興味を持ち、創造的かつ実践的な機械システム開発能力を備えた開発者・研究者への高い志を持つ人を求めています。

I 【知識・理解】

機械システム工学の教育研究分野における基礎知識を有し、課題の本質を理解して幅広い視点から課題を解決するための課題解決能力を高める意欲を持つ人。

II 【思考・判断】

専門知識を活用して、自ら課題を発見するとともに課題の本質を見極め、創造的に探究及び思考する能力を持ち、適切な課題解決方法を判断しながら研究計画を策定し、遂行することができる研究推進能力を高める意欲を持つ人。

III 【技能・表現】

研究成果を公表するための論理的な文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を備え、研究成果を学会等で広く社会に発信することができる研究成果公開能力を高める意欲を持つ人。

IV 【関心・意欲・態度】

社会からの要請に関心を持つとともに、新領域の開拓にも意欲を示し、技術者又は研究者としての高い倫理観を持ち、社会に対して責任ある行動をとることができる十分な社会貢献能力の素養を持つ人。

○入学者選抜の方針

機械システム工学専攻では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けています。

- ・学内推薦入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）及び学外推薦入学試験では、面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力並びに研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。
- ・一般入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）では、筆記試験と面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力と研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。

【建設工学専攻】

建設工学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、建設技術に関わる研究、技術開発、設計及び施工管理等の各分野に興味を持ち、建設に関する高度な知識を有する実務者・開発者・研究者への高い志を持つ人を求めています。

I 【知識・理解】

建設分野の基礎知識を有し、課題の本質を理解して幅広い視点から課題を解決するための課題解決能力を高める意欲を持つ人。

II 【思考・判断】

専門知識を活用して、自ら課題を発見するとともに課題の本質を見極め、創造的に探究及び思考する能力を持ち、適切な課題解決方法を判断しながら研究計画を策定し、遂行することができる研究推進能力を高める意欲を持つ人。

III 【技能・表現】

研究成果を公表するための論理的な文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を備え、研究成果を学会等で広く社会に発信することができる研究成果公開能力を高める意欲を持つ人。

IV 【関心・意欲・態度】

社会からの要請に関心を持つとともに、新領域の開拓にも意欲を示し、高度な知識を有する実務者・技術者又は研究者としての高い倫理観を持ち、社会に対して責任ある行動をとることができる十分な社会貢献能力の素養を持つ人。

○入学者選抜の方針

建設工学専攻では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けています。

- ・学内推薦入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）及び学外推薦入学試験では、面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力並びに研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。
- ・一般入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）では、筆記試験と面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力と研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。

【情報システム科学専攻】

情報システム科学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、コンピュータ、ネットワーク、アプリケーション開発及びマネージメントの各分野に関する先端的な研究に興味を持ち、創造的かつ実践的なシステム開発能力を備えた開発者・研究者への高い志を持つ人を探求しています。

I 【知識・理解】

情報システム科学の教育研究分野における基礎知識を有し、課題の本質を理解して幅広い視点から課題を解決するための課題解決能力を高める意欲を持つ人。

II 【思考・判断】

専門知識を活用して、自ら課題を発見するとともに課題の本質を見極め、創造的に探究及び思考する能力を持ち、適切な課題解決方法を判断しながら研究計画を策定し、遂行することができる研究推進能力を高める意欲を持つ人。

III 【技能・表現】

研究成果を公表するための論理的な文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を備え、研究成果を学会等で広く社会に発信することができる研究成果公開能力を高める意欲を持つ人。

IV 【関心・意欲・態度】

社会からの要請に関心を持つとともに、新領域の開拓にも意欲を示し、技術者又は研究者としての高い倫理観を持ち、社会に対して責任ある行動をとることができる十分な社会貢献能力の素養を持つ人。

○入学者選抜の方針

情報システム科学専攻では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けています。

- ・学内推薦入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）及び学外推薦入学試験では、面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力並びに研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。
- ・一般入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）では、筆記試験と面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力と研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。

【環境学専攻】

環境学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、居住環境、環境構想、自然環境及び環境情報の各分野に関する先端的な研究に興味を持ち、創造的かつ実践的に環境共生型・循環型社会の構築に貢献できる技術者・研究者への高い志を持つ人を探求しています。

I 【知識・理解】

環境学の教育研究分野における基礎知識を有し、課題の本質を理解して幅広い視点から課題を解決するための課題解決能力を高める意欲を持つ人。

II 【思考・判断】

専門知識を活用して、自ら課題を発見するとともに課題の本質を見極め、創造的に探究及び思考する能力を持ち、適切な課題解決方法を判断しながら研究計画を策定し、遂行することができる研究推進能力を高める意欲を持つ人。

III 【技能・表現】

研究成果を公表するための論理的な文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を備え、研究成果を学会等で広く社会に発信することができる研究成果公開能力を高める意欲を持つ人。

IV 【関心・意欲・態度】

社会からの要請に関心を持つとともに、新領域の開拓にも意欲を示し、技術者又は研究者としての高い倫理観を持ち、社会に対して責任ある行動をとることができる十分な社会貢献能力の素養を持つ人。

○入学者選抜の方針

環境学専攻では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けています。

- ・学内推薦入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）及び学外推薦入学試験では、面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力並びに研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。
- ・一般入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）では、筆記試験と面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力と研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。

【生命機能工学専攻】

生命機能工学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、基礎生命システム科学、生命工学、食品加工学及び生体医工学の各分野に関する先端的な研究に興味を持ち、実践的な研究、技術開発能力を備えた開発者・研究者への高い志を持つ人を探求しています。

I 【知識・理解】

生命機能工学の教育研究分野における基礎知識を有し、課題の本質を理解して諸課題を俯瞰的かつ多角的に捉え、課題を解決する課題解決能力を高める意欲を持つ人。

II 【思考・判断】

専門知識と技術を活用して、自ら課題を発見するとともに課題の本質を見極め、論理的に探究及び判断する能力を持ち、問題解決への多様性のある思考と多角的な判断をしながら研究計画を策定し、遂行することができる研究推進能力を高める意欲を持つ人。

III 【技能・表現】

社会的課題を解決できる幅広い技術を修得し、解決策をわかりやすく表現できる技能や自らの考えを的確に表現し、相手の意図を理解するコミュニケーション能力を有し、研究成果を学会等で広く社会に発信する意欲を持つ人。

IV 【関心・意欲・態度】

生命・環境・生活に広く関心を持つとともに、生命機能工学の担い手としての意欲と他者と協働できる素養を有し、積極的な課題探究への意欲と、専門技術者としての使命感と倫理観をもって、社会に対して責任ある行動を取ることができる十分な社会貢献能力の素養を持つ人。

○入学者選抜の方針

生命機能工学専攻では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けています。

- ・学内推薦入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）及び学外推薦入学試験では、面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力並びに研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。
- ・一般入学試験（Ⅰ期及びⅡ期）では、筆記試験と面接により、専門分野の基礎的知識及び研究推進能力と研究計画及び修士論文執筆計画の妥当性を評価します。

学外推薦入学試験 《博士前期課程のみ》

1. 募集人員

研究科	課程	専攻名	募集人員
工学系研究科	博士前期	電気電子工学専攻	若干名
		機械システム工学専攻	若干名
		建設工学専攻	若干名
		情報システム科学専攻	若干名
		環境学専攻	若干名
		生命機能工学専攻	若干名

2. 出願資格

次のすべてに該当する者

- (1) 大学を令和6年3月に卒業した者若しくは令和6年4月から令和7年3月に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 学業成績、人物ともに優れ、将来目指す学位の教育研究分野において貢献ができる者
- (3) 在籍学科の成績順位が上位1/3以上の者 ※当該年度の卒業(見込)者数を分母とする
- (4) 合格した場合に入学することが確約できる者

※受験を希望する者は、出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること

3. 選考方法

面接試験及び出願書類により総合的に判定します。

- (1) 試験時間等

集合時間	13:10
集合場所	受験票により通知
面接試験	13:30～

一般入学試験

1. 募集人員

研究科	課程	専攻名	募集人員
工学系研究科	博士前期	電気電子工学専攻	10人
		機械システム工学専攻	10人
		建設工学専攻	10人
		情報システム科学専攻	10人
		環境学専攻	10人
		生命機能工学専攻	10人
	博士後期	知的機能科学専攻	8人

2. 出願資格

《博士前期課程》

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和7年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和7年3月末までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者又は令和7年3月末までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者又は令和7年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月末までに授与される見込みの者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者又は令和7年3月末までに修了見込みの者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者
- (10) 本大学院において個別の入学資格審査により認めた22歳以上の者

※ 受験を希望する者は、出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること

※ 出願資格(10)で出願しようとする者は、事前に入学者資格審査（P. 18参照）を要する

《博士後期課程》

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者又は令和7年3月末までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月末までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月末までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (7) 本大学院において個別の入学資格審査により認められた24歳以上の者

※ 受験を希望する者は、出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること

※ 出願資格(6) (7)で出願しようとする者は、事前に入学資格審査（P. 18参照）を要する

3. 選考方法

《博士前期課程》

TOEIC L&R (TOEIC-IP可) スコア[※]、筆記試験、面接試験及び出願書類により総合的に判定します。

※ 令和4年4月1日以降に実施された試験の結果に限る。

《博士後期課程》

筆記試験、面接試験及び出願書類により総合的に判定します。

(1) 試験時間等

《博士前期課程》 ※ 環境学専攻専門科目「建築設計」選択者のみスケジュールが異なる（次頁に記載）

試験時間	試験科目等	備考
10:10	受験者集合	集合場所は受験票により通知
10:30～12:00	筆記試験 (専門科目2科目)	電卓（関数機能付き）の持ち込み可
13:15	受験者集合	
13:30～	面接試験	個別面接

《博士前期課程》 環境学専攻専門科目「建築設計」選択者

試験時間	試験科目等	備 考
09:10	受験者集合	集合場所は受験票により通知
09:30～11:00	筆記試験 (専門科目「建築設計」)	製図道具一式(但し、家具・衛生機器・建築部位・建築設備を描くための型板を除く)の持ち込み可
11:15～12:00	筆記試験 (専門科目1科目)	電卓(関数機能付き)の持ち込み可
13:15	受験者集合	
13:30～	面接試験	個別面接

《博士後期課程》 知的機能科学専攻

試験時間	試験科目等	備 考
08:40	受験者集合	集合場所は受験票により通知
09:00～10:00	外国語「英語」※	英和辞典及び和英辞典の持ち込み可 ※電子辞書の場合は通信機能のないものに限る
10:15	受験者集合	
10:30～	面接試験	口頭発表及び口述試験を含む <ul style="list-style-type: none"> ・面接時間30分程度のうち、口頭発表の時間を10分程度設ける ・口頭発表は、研究実績及び研究計画について事前に作成した発表資料(パワーポイント等)を用いて実施する(試験当日に資料を持参すること) ・口述試験は、専門科目、英語、研究業績、研究計画のいずれか又は複数のものについて行う

※ 外国語「英語」の試験は、学外からの受験者のみ対象

(2) 博士前期課程の専門科目について

出願時に志望する専攻の専門科目から、受験する科目を2科目選択

専攻	選択科目	
電気電子工学専攻	5科目中2科目選択	1. 電子物性・デバイス 2. 回路 3. 計測制御 4. 電気エネルギー 5. 情報通信
機械システム工学専攻	5科目中2科目選択	1. 材料力学 2. 機械力学・制御 3. 熱力学 4. 流体力学 5. 機械材料
建設工学専攻	専門とする系より 4科目中2科目選択 ※系をまたぐことは不可	<建築工学系> 1. 構造力学 2. 鋼構造学・鉄筋コンクリート工学 3. 材料・生産工学・地盤工学 4. 計画学・建築環境工学 <土木工学系> 1. 構造力学 2. 材料学・地盤工学 3. 水理学 4. 計画学・環境工学
情報システム科学専攻	3科目中2科目選択	1. アルゴリズムとデータ構造 2. データ解析・信号処理 3. 情報処理技術 (テクノロジー・マネジメント・ストラテジ)
環境学専攻	6科目中2科目選択	1. 建築環境論 2. 建築計画・建築構造 3. 建築設計 4. 地球環境科学 5. 環境共生科学 6. 環境情報科学
生命機能工学専攻	6科目中2科目選択	1. 病態生理学 2. 医用工学 3. 生体計測学 4. 分子細胞工学 5. 食品製造学 6. 発酵食品学

社会人特別選考

1. 募集人員

研究科	課程	専攻名	募集人員
工学系研究科	博士前期	電気電子工学専攻 機械システム工学専攻 建設工学専攻 情報システム科学専攻 環境学専攻 生命機能工学専攻	若干名 若干名 若干名 若干名 若干名 若干名
	博士後期	知的機能科学専攻	若干名

2. 出願資格

《博士前期課程》

令和7年3月末において、企業等で原則として志望の専攻に関連する専門の経験を2年以上有する者又は企業等に2年以上在籍し所属長の推薦を受けた者、かつ、次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者
- (10) 本大学院において個別の入学資格審査により認めた22歳以上の者

※ 受験を希望する者は、出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること

※ 出願資格(10)で出願しようとする者は、事前に入学資格審査（P. 18参照）を要する

《博士後期課程》

令和7年3月末において、企業等で原則として志望の専攻と関連する専門の経験を2年以上有している者又は所属長の推薦を受けた企業等に在籍する研究者・技術者で、大学等において志望の専攻と関連する専門教育を受けた者、かつ、次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者

- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (7) 本大学院において個別の入学資格審査により認められた24歳以上の者

※ 受験を希望する者は、出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること

※ 出願資格(6) (7)で出願しようとする者は、事前に入学資格審査（P. 18参照）を要する

3. 選考方法

《博士前期課程》

筆記試験、面接試験及び出願書類により総合的に判定します。

《博士後期課程》

面接試験及び出願書類により総合的に判定します。

(1) 試験時間等

《博士前期課程》 全専攻共通

試験時間	試験科目等	備 考
10 : 10	受験者集合	集合場所は受験票により通知
10 : 30～11 : 30	小論文	
13 : 15	受験者集合	
13 : 30～	面接試験	口述試験を含む ※口述試験は、専攻する専門科目及び提出された業務内容報告書の内容について行う

《博士後期課程》 知的機能科学専攻

試験時間	試験科目等	備 考
09 : 40	受験者集合	集合場所は受験票により通知
10 : 00～	面接試験	口頭発表及び口述試験を含む <ul style="list-style-type: none"> ・面接時間30分程度のうち、口頭発表の時間を10分程度設ける ・口頭発表は、研究実績及び研究計画について事前に作成した発表資料（パワーポイント等）を用いて実施する（試験当日に資料を持参すること） ・口述試験は、専門科目、英語、研究業績、研究計画のいずれか又は複数のものについて行う

外国人留学生入学試験

1. 出願の留意事項

- (1) 受験を希望する者は、事前に以下の手続きを要する
 - ① 各期の出願書類確認期間において、出願資格の有無及び提出書類の確認を受けること
 - ② 出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること
- (2) 入学後の授業は日本語で行われますので、十分な日本語能力が必要です。
- (3) 本学への入学者は保証人が必要です。保証人は日本に居住して独立生計を営んでおり、学生が本学に在籍している間、生活面及び経済面において責任が持てる人物に限ります。
- (4) 出願書類等に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消します。

2. 出願書類確認期間

外国人留学生入学試験においては、出願書類の事前確認が必要ですので、以下の期間中に必要書類を本学教育学支援部に提出してください。

出願書類確認期間	(I期) 令和6年 7月15日 (月) ~ 26日 (金) (II期) 令和6年12月9日 (月) ~ 20日 (金)
出願書類	《博士前期課程》 P. 14を参照 《博士後期課程》 P. 15を参照

3. 募集人員

研究科	課程	専攻名	募集人員
工学系研究科	博士前期	電気電子工学専攻	若干名
		機械システム工学専攻	若干名
		建設工学専攻	若干名
		情報システム科学専攻	若干名
		環境学専攻	若干名
		生命機能工学専攻	若干名
	博士後期	知的機能科学専攻	若干名

4. 出願資格

《博士前期課程》

外国の国籍を有し（日本国の永住権を持つ者は除く）、入学後、本学の外国人学生として在留資格（「留学」ビザ）を取得できる者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における16年以上の課程を修了した者又は令和7年3月末までに修了見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した後、日本の大学に入学し卒業した者又は令和7年3月末までに卒業見込みの者
- (3) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 上記、(1)～(3)と同等以上の能力をもつと本大学院において認められた者

※ 受験を希望する者は、事前に以下の手続きを要する

- ① 各期の出願書類確認期間において、出願資格の有無及び提出書類の確認を受けること
- ② 出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること

※ 出願資格(4)で出願しようとする者は、事前に入学資格審査（P. 18参照）を要する

《博士後期課程》

外国の国籍を有し（日本国の永住権を持つ者は除く）、入学後、本学の外国人学生として在留資格（「留学」ビザ）を取得できる者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位に相当する学位を有する者又は令和7年3月末までに取得見込みの者
- (2) その他、本大学院において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※ 受験を希望する者は、事前に以下の手続きを要する

- ① 各期の出願書類確認期間において、出願資格の有無及び提出書類の確認を受けること
- ② 出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究内容について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得ること

※ 出願資格(2)で出願しようとする者は、事前に入学資格審査（P. 18参照）を要する

5. 選考方法

提出された出願書類による書類審査を行います。

選考を行うにあたり、本人又は身元保証人に対して、詳細な質問若しくは新たに書類の追加提出を求めることがあります。

なお、必要に応じて、学力検査及び面接試験を行う場合があります。

共通項目

1. 出願方法

出願はインターネットのみです。

1. 事前準備

- ・受験を希望する者は、出願の前に指導を希望する教員に対して、専門分野及び希望する研究分野について相違がないことを確認し、合格・入学後の研究指導の内諾を得てください。
- ・提出書類のうち、大学等に依頼する書類の発行には時間がかかる場合がありますので、早めに準備してください。



2. インターネット出願サイトにアクセス

- ・本学Webサイトを経由し、インターネット出願の入力画面に進んでください。



3. 受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」へ個人情報を登録する

- ・メールアドレスが必要です。「UCARO」登録済みの場合は、ログインしてください。



4. 出願登録

- ・入力画面の表示に従って、登録をしてください。
①志望情報入力 →②個人情報入力 →③出願内容・必要書類の確認 →④決済情報入力
- ※出願登録完了後及び入学検定料入金完了後に、登録したメールアドレス宛てに完了メールを送信します。
- 携帯メールの場合は、ドメイン（@webshutsugan.com）の受信を許可してください。



5. 入学検定料の支払い

- ・出願登録完了画面に記載されているコンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかで入学検定料をお支払いください。
- ※詳細はインターネット出願トップ画面の「入学検定料の支払方法について」をご確認ください。
- ※入学検定料の他に手数料が必要です。
- ※支払期限は出願期間最終日の19時までです。



6. 出願書類の郵送（簡易書留速達）又は窓口持参

- ・出願書類を封入した封筒の表面に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼りつけてください。
- ※出願期間最終日の消印有効

2. 出願書類

《博士前期課程》

出願書類	学外推薦 入学試験	一般 入学試験	社会人 特別選考	外国人留学生 入学試験
写真（写真アップロードを以て提出に代える）	●	●	●	●（注）
成績証明書	●	●	●	●（注）
卒業（見込）証明書	●	●	●	●（注）
TOEIC L&Rのスコアを証明する書類（TOEIC公開テスト公式認定証又はTOEIC-IPテストスコアレポート）の原本 ※令和4年4月1日以降に実施された試験の結果に限る	—	●	—	—
推薦書 【本学所定様式】 ※社会人特別選考は所属長の推薦を受けて出願する者のみ【様式自由】	●	—	▲ （該当者のみ）	●（注）
志望理由書 【本学所定様式】	●	●	●	●（注）
業務内容報告書 【本学所定様式】 ・在職中に本人が行った業務内容の概要を1,000字以内にまとめたもの ・本人の業績を示す文書の写等関係資料がある場合は添付すること ・研究発表等の特記事項がある場合はその旨も記入すること	—	—	●	—
身元保証書 【本学所定様式】 ※保証人は日本在住者に限る	—	—	—	●
市区町村交付の「住民票記載事項証明書」 又はパスポートの写し （氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分）	—	—	—	●
※短期大学専攻科及び高等専門学校専攻科修了（見込）者は、次のうち該当する書類 （短期大学長又は高等専門学校長発行のもの） ・学士の学位記の写 ・学位授与（申請予定）証明書	—	▲ （該当者のみ）	▲ （該当者のみ）	—

【本学所定様式】はインターネット出願サイトからダウンロードしてください。

（注）外国人留学生入学試験の受験を希望する者は、各期の出願書類確認期間において、「出願書類確認申込書【本学所定様式】」とともに本学教学支援部に提出し、事前の確認を受けてください。

《博士後期課程》

出願書類	一般 入学試験	社会人 特別選考	外国人留学生 入学試験
写真（写真アップロードを以て提出に代える）	●	●	●（注）
学部の成績証明書	●	●	●（注）
大学院の成績証明書	●	●	●（注）
卒業証明書	●	●	●（注）
修了（見込）証明書	●	●	●（注）
推薦書 【本学所定様式】 ※社会人特別選考は所属長の推薦を受けて出願する者のみ【様式自由】	—	▲ (該当者のみ)	●（注）
研究計画書 【本学所定様式】	●	●	●（注）
研究実績 【本学所定様式】	●	●	●（注）
志望理由書 【本学所定様式】	—	●	●（注）
業務内容報告書 【本学所定様式】 ・在職中に本人が行った業務内容の概要を1,000字以内に まとめたもの ・本人の業績を示す文書の写等関係資料がある場合は添付 すること ・研究発表等の特記事項がある場合はその旨も記入すること	—	●	—
学位（修士）論文等 a. 修士の学位を有する者は以下の書類 ・学位（修士）論文の写し ・学位（修士）論文要旨 【本学所定様式】 b. a以外の者は以下の書類 ・専門に関連した小論文 【本学所定様式】	●	●	●（注）
身元保証書 【本学所定様式】 ※保証人は日本在住者に限る	—	—	●
市区町村交付の「住民票記載事項証明書」 又はパスポートの写し (氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分)	—	—	●

【本学所定様式】はインターネット出願サイトからダウンロードしてください。

(注) 外国人留学生入学試験の受験を希望する者は、各期の出願書類確認期間において、「出願書類確認
申込書【本学所定様式】」とともに本学教学支援部に提出し、事前の確認を受けてください。

3. 出願にあたっての留意事項

- (1) 身体等に障害があり、受験上特別の配慮を必要とする場合は、出願の前に本学まで問い合わせてください。これは、受験時や入学後の対応を事前を知るためのものであり、入学試験の可否には全く関係ありません。
- (2) 提出後、出願書類等の返還及び記入事項の変更は認めません。また、入学検定料は返還しません。
- (3) 出願書類等に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消します。
- (4) 保証人(※)は出願時には必要ありません(外国人留学生入学試験を除く)が、入学手続時には必要となりますので、保証人をたてることができない場合、入学を取り消すことがあります。
※日本に居住し独立生計を営んでおり、学生が卒業するまでの生活面及び経済面等全てについて保証できる人に限る。
- (5) [社会人特別選考受験者へ]
 - ・入学後は原則として特別の配慮はしません。
 - ・学則に定められた教育課程に基づき、指導教員の指導の下で、修学と研究に専念するものとします。
- (6) [外国人留学生入学試験受験者へ]
 - ・在留資格認定証明書及び査証(ビザ)の取得に関しては、P. 19の資料を参考にしてください。

4. 合格発表

- (1) 受験ポータルサイト「UCARO(ウカロ)」にて合格発表日の12:00から可否の発表を行います。
なお、本学への電話やメール等による可否の問い合わせには、一切応じません。
- (2) 可否に関する書面での通知は行いません。
合格した場合の合格通知等の書類は「UCARO(ウカロ)」よりダウンロードしてください。

5. 入学試験成績の開示について

成績開示には事前申請が必要です。

開示申請は電話でも可能ですが、成績開示は受験者本人であることを確認の上、本学で行います。

- (1) 申請及び開示期間
 - ・各入学試験の合格発表日の翌日から令和7年3月31日(月)まで【土、日、祝日を除く】
9:00~17:00
- (2) 方法
 - ・本人が身分証明書を本学へ持参して行う。

6. 入学手続

合格通知書を受け取った者は、次のとおり入学手続きをしてください。

なお、学位授与機構に学士の学位授与申請中の者は、学士の学位取得後、速やかに学位記の写又は学位授与証明書を本学教学支援部に提出してください。

入試方式	入学金納入締切日	授業料・施設設備資金 納入締切日	入学手続書類 提出締切日【必着】
学外推薦入学試験	令和6年10月25日 (金)	令和7年3月25日 (火)	
一般入学試験 (I期)			
社会人特別選考 (I期)			
外国人留学生入学試験 (I期)			
一般入学試験 (II期)	令和7年3月25日 (火)		
社会人特別選考 (II期)			
外国人留学生入学試験 (II期)			
【注】 (1) 所定の期限までにこれらの手続を完了しない場合は、入学を許可しません。 (2) 一度納入された入学金は返還しません。 (3) 入学手続完了後、卒業(修了)要件を満たさないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。			

〔納入金〕

	初年度納入金	入学手続時納入金額	後期納入金額
入学金 (※)	250,000円	250,000円	—
授業料	1,010,000円	505,000円	505,000円
施設設備資金	170,000円	85,000円	85,000円
合計	1,430,000円	840,000円	590,000円

※〈博士前期課程〉本学学部卒業見込者については、入学金は所定の額(250,000円)の半額です。

〈博士後期課程〉本大学院博士前期課程から継続して進学する者は、入学金を免除します。

7. 入学資格審査

(1) 入学資格審査について

入学資格審査を希望する者は、申請前に出願を希望する専攻長に相談し、承認を得ること。

(2) 入学資格審査受付期間

次に掲げる期間とする。(必着)

なお、土曜、日曜・祝日が締切日の場合は、翌営業日とする。

① I期入試 07月01日～10日

② II期入試 12月01日～10日

(3) 提出書類

入学資格審査を希望する者は、次の書類を取り揃え、本学教学支援部へ提出すること。(外国語で記載されたものは日本語訳を添付)なお、郵送する場合は「簡易書留速達」とすること。

出願書類	博士前期課程	博士後期課程
入学資格審査申請書【本学所定様式】	●	●
最終出身校の成績証明書	●	●
最終出身校の卒業(修了)証明書又は在籍証明書	●	●
研究実績【本学所定様式】	—	●
研究歴証明書【本学所定様式】	—	●
教育課程表又はこれに代わるもの(シラバス等)の写し	●	●
専攻長が特に必要と定めたもの ・著書、論文、報告書等自己の能力を証する資料 ・専攻の定める特定の取得資格の証明書の写し	●	●
業務内容報告書【本学所定様式】	社会人特別選考のみ	社会人特別選考のみ

【本学所定様式】はインターネット出願サイトからダウンロードしてください。

◆提出先

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
広島工業大学 教学支援部アドミッション担当

(4) 審査結果

合否に関わらず、審査結果を文書にて出願期間に間に合うよう、本人宛に郵送する。

8. 在留資格に関する手続きについて

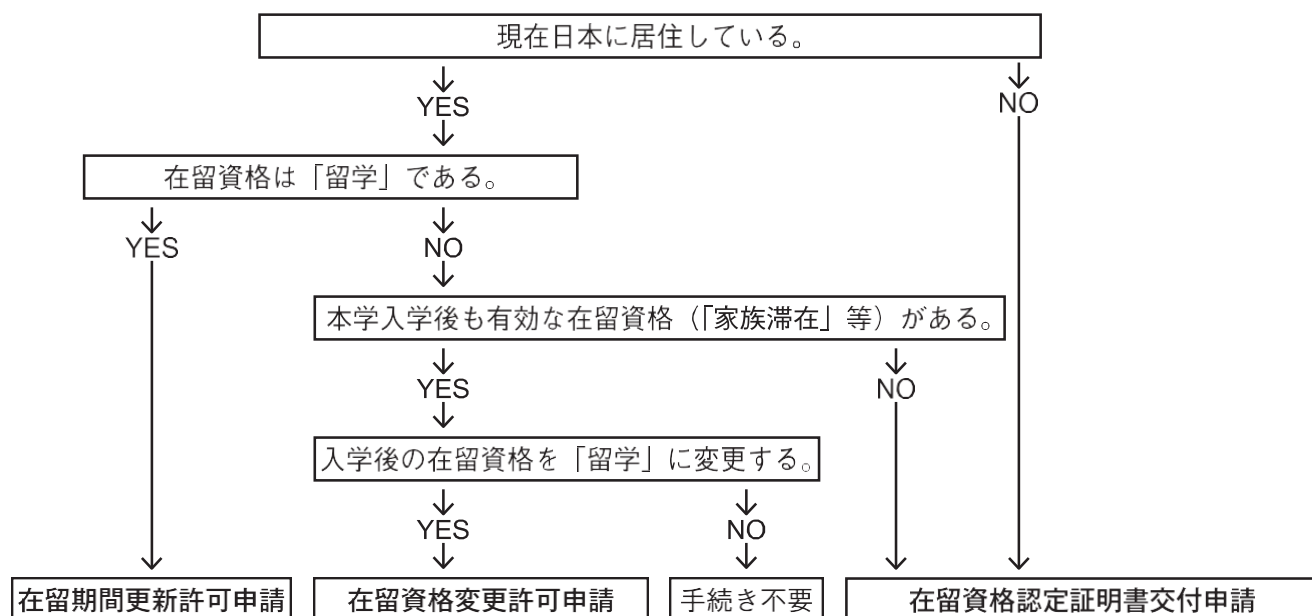
◆ 「在留資格」「査証」申請手続きに関する問い合わせ先

広島工業大学 教学支援部
TEL : 082-921-4164 FAX : 082-921-8954
E-MAIL : intl@it-hiroshima.ac.jp

「在留資格認定証明書」及び「査証（ビザ）」の取得に関する注意事項

外国の国籍を有する者が本学への入学を希望する場合は、日本国の在留資格を取得することが必要となります。入学試験に合格しても、日本に滞在可能な在留資格が取得できない場合は、本学に入学することができませんので、以下の手順に従って手続きを行ってください。

<在留資格手続きに関するフローチャート>



- (1) 「留学」以外の在留資格（「家族滞在」等）でも、有効な在留資格があれば入学することはできますが、留学生対象の奨学金の申請資格等において制限を受けることがありますので、ご注意ください。
- (2) 在留資格及び査証に関しては、申請者本人の責任において、期限に間に合うように手続きを行ってください。本学では、入学希望者から提出された書類に基づき、助言や必要書類の提供、代理申請等を行います。
- (3) 在留資格審査は法務省が行うため、審査結果に関して、本学が責任を負うことはできません。
- (4) 出願時に日本国外に居住し、本学の外国人留学生入学試験受験のために来日する場合、短期滞在の査証申請が必要となる場合があります。手続きについては、教学支援部までお問い合わせください。
- (5) 各国の情勢等の影響により、日本国への入国・在留資格申請の際に、通常時とは異なる手続きや書類の提出が発生することがありますので、ご注意ください。

